

第3回岩出町公共下水道事業運営審議会 議事概要

1. 日時 平成18年3月27日(水) 13:30~16:00
2. 場所 岩出町中央公民館
3. 出席者 会長他委員9名、事務局5名
4. 議題
 - (1) 前回議事概要について
 - (2) 前回要求の資料提出について
 - (3) 中間答申(案)について
 - (4) その他
5. 会議形式 公開
6. 傍聴者 なし
7. 議事概要

司会者 開 会

事業部長 挨 拶

会長 挨 拶

(1) 前回議事概要について(事務局報告)

(2) 前回要求の資料提出について(事務局報告)

1. 岩出町に近い(条件の)自治体の下水道計画・普及状況について
2. 町内の合併浄化槽普及状況について
3. 下水道への住民要望について

(3) 中間答申(案)について

前回骨格(案)で審議の方針などの修正指摘があったため、それを反映して文章化した案を事務局より提示。計画区域図の表現を工夫することと、文章表現再チェックの指摘があり。次回修正の上採択の審議を行うこととなった。

(4) その他について

4月1日の市制施行に伴う審議会名称の変更(岩出市公共下水道事業運営審議会)について報告。

8. 主な意見・質疑応答

質疑

資料がホームページや既存資料の調査ばかりである。最近ではホームページでもかなり資料開示されているが、実際に出かけて行って調べることも重要だ。審議会委員も机の上で検討したというよりも、他都市の状況などを参考に検討したほうが住民に対する関心度も違うと思う。

事務局

資料調査の段階で、岩出町と自治体規模が近く、下水道着手時期の新しい自治体を探したのですが、近くに条件が完全に合う自治体はありませんでした。しかし実地で調べることも重要と思いますので、一度現地視察を企画します。

意見

中間答申（案）はありとあらゆることがあちこちに出てきて全体像がイメージできない。長期的な問題に関する意見を住民に聞くのだから、関心をもってもらえるような資料を作らないと見てもらえない。

意見

下水道のPRが不足している。町広報を見ても合併浄化槽のPRが大きすぎるので、一般住民からすると、なぜ公共下水を進めるのかという話が出てくると思う。

意見

下水道事業を進めていく上では費用対効果が一番大事であるため、整備区域を決めていくには住民意向だけでなく、費用対効果も考えた中で区域を広げていくべきだ。

質疑

費用対効果という意味では、集中浄化槽のある大規模団地などは使える管はそのまま引き取るのが良いのでは？

事務局

基本的には引き取れるものは引き取る方向で検討するが、既設管の傷み具合、勾配が取れているか、地表から浅くないかなどを調べてから判断しています。下水道は50年以上はそのまま使うつもりで管を埋めているので、引き取った管が50年使えるかという観点で見えています。

意見

下水道は計画的に進められているのだから、公共下水道事業がいかに大事であるか、岩出町がその推進モデルになるとか、近隣の町より岩出町が環境に留意している町であるとかアピールして、住民が岩出町に住んでいいなと思えるような宣伝をしていくことが必要。

次回提出資料

- ・ 中間答申（第2案）
- ・ 中間答申概要版の案
- ・ 中間答申のPRと今後の審議スケジュールについて

9. 次回日程

平成18年4月13日（水）午後1時30分より

10. 問い合わせ先 事業部 下水道課 電話番号 （62）2141 内線 333